

徳山

徳山の盆踊は、古歌舞伎の初期の仕組みを受け継ぎ、動物の仮装を取り入れた独特の風流が特徴です。このため、地域ならではの魅力が高く評価されています。

地域の歴史や風土を反映し、多彩な姿で今も受け継がれる「風流踊^{ぶりゅうおどり}」のひとつとして、2022年11月にユネスコ無形文化遺産に登録されました。

の盆踊



①様々な屋台が軒を連ねた ②⑤神社境内の舞台にて披露された「ヒーヤイ」「狂言」 ③神秘的な笛の音が神社一帯を包む ④打ち上げられた花火が夜空をきれいに彩る ⑥豊作を祈願する「鹿ん舞」

徳山古典芸能保存会と地元の子どもたちなどによる「徳山の盆踊」が8月15日に徳山地区の浅間神社で奉納されました。

境内に設けられた舞台では、舞子姿の女子生徒が謡いに合わせて踊る「ヒーヤイ」と、成人男性によって「狂言」が演じられました。舞台の周りでは、鹿のかぶり物をした男子生徒が踊る「鹿ん舞」が軽快なおはやしに乗せて演じられました。あいにく雨が降っていましたが、多くの見物客が訪れ、時に優雅で時に力強い演目の数々を楽しみながら鑑賞しました。見物客も飛び入りで「露払い」に挑戦したりと、にぎやかな祭りの夜となりました。



創業昭和38年 三代続く外壁塗装・屋根工事の専門店

川根本町地名 1297-1

<https://tosouya-nakapen.com>

☎090-5879-1694

代表 中村哲也



職人
直営

塗装屋ナカペン